

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公開番号】特開2008-72760(P2008-72760A)

【公開日】平成20年3月27日(2008.3.27)

【年通号数】公開・登録公報2008-012

【出願番号】特願2007-297979(P2007-297979)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/26 (2006.01)

H 0 4 B 1/707 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 2

H 0 4 J 13/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月2日(2008.4.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通常モードでは非圧縮フレームを連続的に送信し、圧縮モードでは圧縮フレームを間欠的に送信する符号分割多元接続システムであって、

基地局は、

下りフレームに対してビット単位のインタリーブを行う第1のインタリーブと、

圧縮モード時は、上記インタリーブ後の下りフレームを圧縮して圧縮下りフレームを生成する第1の圧縮手段と、

上記圧縮下りフレームを、フレームウインドウの先端を含む前方部分と上記フレームウインドウの後端を含む後方部分とに分けて配置することにより無伝送時間を設けた圧縮下りフレームと、移動局に対して上り送信電力の増加または減少を指示する上り送信電力制御情報と、を送信する送信手段と、

を備え、

移動局は、

上記基地局が送信した圧縮下りフレームと、上り送信電力制御情報と、を受信する受信手段と、

上記圧縮下りフレーム中の無伝送時間中に他の周波数成分を観測する観測手段と、

上りフレーム送信時、

上記上りフレームに対してビット単位のインタリーブを行う第2のインタリーブと、

圧縮モード時は、上記インタリーブ後の上りフレームを圧縮して圧縮上りフレームを生成する第2の圧縮手段と、

上記受信した上り送信電力制御情報に基づいて、通常モードでは1つの上り送信電力制御単位で、圧縮モードでは複数の上り送信電力制御単位で、上り送信電力を増加または減少させることにより、上記非圧縮上りフレームおよび上記圧縮上りフレームの上り送信電力を調整することが可能な調整手段と、

を備えることを特徴とする符号分割多元接続システム。

【請求項2】

通常モードでは非圧縮フレームを連続的に送信し、圧縮モードでは圧縮フレームを間欠

的に送信する符号分割多元接続システムにおける基地局であって、  
下りフレームに対してビット単位のインタリーブを行うインタリーバと、  
圧縮モード時は、上記インタリーブ後の下りフレームを圧縮して圧縮下りフレームを生成する圧縮手段と  
非圧縮下りフレームと、上記圧縮下りフレームと、を送信する送信手段と、  
移動局が送信する下り送信電力の増加または減少を指示する下り送信電力制御情報を受信する受信手段と、  
上記圧縮手段および上記送信手段を制御する制御手段と、  
を備え、  
上記圧縮手段および上記送信手段は、  
上記圧縮下りフレームを、フレームウィンドウの先端を含む前方部分と、上記フレームウィンドウの後端を含む後方部分と、に分けて配置することにより無伝送時間を設け、  
上記受信した下り送信電力制御情報に基づいて、通常モードでは1つの下り送信電力制御単位で、圧縮モードでは複数の下り送信電力制御単位で、下り送信電力を増加または減少させることにより、上記非圧縮下りフレームおよび上記圧縮下りフレームの下り送信電力を調整し、上記調整された下り送信電力により、上記非圧縮下りフレームおよび上記圧縮下りフレームを、上記無伝送時間内に他の周波数キャリアを観測する移動局に送信するように制御されることが可能なことを特徴とする基地局。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】符号分割多元接続システムおよび基地局